

＜建設業会計１級（原価計算）ミニテスト 17＞経営意思決定の特殊原価分析

＜資料＞

建設用資材メーカーである当社は、製品 T T T の生産のために必要な部品 T を自家製造している。その生産量は月間 10,000 個で、月間の製造原価は次のとおりである。

	月間製造原価
直接材料費	4,000,000 円
労務外注費	5,000,000 円
変動製造間接費	3,500,000 円
固定製造間接費	6,000,000 円

【問題 1】

部品 T'（部品 T の完全互換品）のメーカから当該部品を 1,800 円/個で販売したいとの提案があった。部品 T は社内外注に依頼して作業を行ってきたので、もしこの部品を購入に切り替えれば、社内外注との契約更新を行わないものとする。さらに、外部購入に切り替えると、この部品 T の製造設備を外部に賃貸することができる。それによる純収益は月額 2,000,000 円である。なお、部品 T の製造を中止しても固定製造間接費のうち家賃 4,000,000 円の発生は回避することができない。以上から、必要量 10,000 個を前提とした場合自製と外部購入のいずれが有利であるかを下記の資料から分析しなさい。

【解答】

（ ）が（ ）よりも（ ）円有利である。

[問題 2]以下の（ ）に適切な語句を記入しなさい
家賃 4,000,000 円を特殊現価調査では（ ）原価という